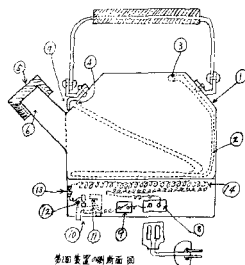


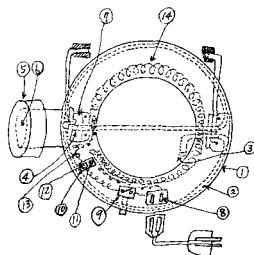
目的：前回報告(日本家政学会第26回總會研究発表要旨集、152頁参照)に同じ。本報告は、とくに容器下部に発熱体を含む電気回路を組み込むことを特徴とした安全やかんである。

構成：第1～第3図に示すように、①は容器、②は曲げ管、③は蒸気取り入れ口、④は蒸気噴出口、⑤は密栓、⑥はやかんの口、⑦は蒸気放射半円筒管である。これらの各部の機能については第1～第5報告を参照されたい。⑧はコンセントの受け口、⑨はサーモスタットで容器①内の水が無くなって容器の温度が上昇したとき電源を切る作用をする。また⑩は重量スイッチで、容器①内の水が無くなったときや本器が転倒したときバネ⑪の作用で接点⑫が開き、回路に流れる電流を切る作用をする。何れも容器内の水が無くなったとき作動するが、サーモスタット⑨より重量スイッチ⑩の方が先に働くのが理想的である。さらに安全性を高めるために温度ヒューズ⑬を直列に回路内に入れる。⑭は発熱体である。

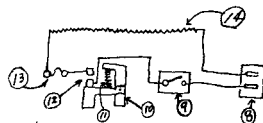
本構造は、万一、転倒した場合、重量スイッチ⑩により、回路に流れる電流は切れるので発熱体⑭は働かない。また本器は如何なる角度に転倒しても曲げ管②の一部が必ず液面上に出るため、内容液が容器外に漏液することはないので安全である。



第1図 装置・断面図



第2図 装置・上面図



第3図 装置の回路図